



議会だより

たまかわ

No.162

令和3年
1月21日

12月定例会

主な内容

冬の歳時記	2
公の施設の指定管理者の指定について	3
旧四辻分校観光交流拠点事業など	
6議員が村政をたずねる	9
村民の声（玉一小PTA）	18



輝かしい未来に向けて

～玉川村成人式より～



校内マラソン大会 (玉一小)



コロナを吹っ飛ばせラッパ隊 (令和3年出初め式)



全集中して書き初め (須釜小)

冬の歳時記



おいしいかな? (クックの森~給食にて~)



都々古別神社元旦祭、厄落とし



みんなでお琴演奏 (玉川中)

12月定例会 すべて原案 どおり可決

一般会計補正予算

6,482万円を増額し、予算総額
59億4,526万円に

※金額は万円未満切り捨て

あらまし

玉川村議会12月定例会は、12月4日から8日までの5日間の会期で開催されました。
今定例会では、条例改正、補正予算などの議案11件について審議しました。
また、一般質問には6名の議員が登壇し、村執行部の考えを質しました。

公の施設の指定 管理者の指定 について

たまかわ観光交流施設の指定管理者に、たまかわ未来ファクトリー(株)を指定するもの

【質疑】

小林議員 指定管理者の期間は5年間だが、客の入りが大きく見込みが違って、事業の継続を断念する申し出があった場合でも、指定期間の拘束はあるのか。

総務課長 議決後、管理運営に関する協定が締結され、その中で明示される。

小林議員 募集要項は村に都合の良い内容で、一方的では。

総務課長 抜粋書で

はなく協定書に明文化する。

小林議員 年間600万円の委託料、損失補填(※2)は。

総務課長 村は負担しない。残額があっても返還を求めない。

石井議員 募集期間1か月は短いのでは。

総務課長 インターネット・ホームページで募集。短いとは思わない。

石井議員 9月に説明がない。要綱作成はいつか。

総務課長 9月議会で指定管理者条例が制定され、それに基づき作成。その後、時間がなかった。

石井議員 管理備品400万円、委託料600万円について、12月議会前に説明があっても良かったか。

総務課長 9月定例会に、今後の予定で説明し

た。

須藤議員

初年度委託料600万円。次年度以降は実績に基づき改訂するとあるが、1000万円にも2000万円にもなるのか。

総務課長 600万円に定めてある。赤字補填はない。

建物・敷地の管理委託料である。お互いに確認し、大きくは変わらない。

(※1)たまかわ未来ファクトリー(株)とは…「たまかわ観光交流施設」

指定管理者に応募し、選考された事業者。現在、村のふるさと納税業務を行っている。

(※2)損失補填とは…生じた損失について穴埋めをすることをいう。

討論

◆反対意見

石井議員 短期間に決定。旧四辻分校・乙字ヶ滝と、未来ファクトリー(株)中心に進んでいる。

◆賛成意見

飯島議員 何年も前から準備してやってきたものである。

起立多数で可決



改修工事中の旧四辻分校

令和2年度一般会計補正予算について

主な内容

- (歳入)**
 - 住宅市街地総合整備促進事業費補助金 1278万円
 - 財政調整積立金繰入金 4650万円
- (歳出)**
 - 旧乙字亭建物購入費 1480万円
 - 緊急自然災害防止対策事業 3000万円

〔質疑〕

須藤議員 乙字ヶ滝かわまちづくりは、コンパクトに圧縮する企画変更は可能か。

本格稼働は10年後、カーン・電気自動車は情勢を見ながらでも間に合う

のではないか。

総務課長 議決後に検討。施設利用のなかで、縮小・見直しは可能。

須藤議員 PFI方式は一業者が設計、施工、管理、運営する。一括しないで、村内業者を優先



整備される旧乙字亭

すべきではないか。

総務課長 一つ一つ少ない予算でやっていきたい。

林議員 旧乙字亭建物購入費が9月で否決された。これまでの経過は、

総務課長 12月4日議

員打合せ会でも説明。

国・県・村が一体となり、整備するのに絶好のチャンス。国の補助金があてられる。

林議員 土地建物の評価額は。

総務課長 建物2080万円。土地1530万円。

林議員 固定資産税100万円の納入は、何年あったのか。

総務課長 少しの変動はあるが、毎年納入されている。

林議員 鑑定価格ではなく役場の評価額は。

総務課長 課税評価額で土地8筆、966万円。家屋2棟、6158万円。

石井議員 コロナ禍で村税減の内容は。

総務課長 コロナ禍で法人税、自動車関連が減収。今後の減収も見込み減額補正した。



乙字ヶ滝公園 整備予定の立ち木

石井議員 緊急自然災害防止対策工事3000万円の中身は。

地域整備課長 村単独事業。台風災害で補助対象外となった河川に面し

た住宅地の護岸工事。起債が認められる。

石井議員 中小企業等経営支援事業補助金319万円減額は。

産業振興課長 コロナ

経済対策。

売上1117社、家賃37社、計154事業所。

石井議員 アパート借り上げ料は。

教育課長 地域おこし協力隊員分。11月より小学校の英語教育指導員。

飯島議員 立ち木伐採場所はどこか。

産業振興課長 乙字ヶ滝公園整備に伴う立ち木の伐採。

塩澤議員 住宅修繕料480万はどこか。

地域整備課長 長内団地と玉川団地の7戸。1戸60万円。リフォームをして入居を募集する。

塩澤議員 基準教材等539万円の内容は。

教育課長 令和3年度より中学校の教科書が変わる。先生が使用する教科書236点。

小林議員 立ち木伐採539万の積算根拠は。

産業振興課長 乙字ヶ滝公園内15本、滝見不動18本の計33本。大型クレーンにより伐採、枝払い。

小林議員 公園改修工事560万円の内容は。

産業振興課長 県のサポート事業。投光器で乙字ヶ滝をライトアップ。芝生の上にランタンを設置。サイクリングロードの入口に電灯設置の計画。

小林議員 木が三色のヒモでくくられているのは。

産業振興課長 赤は伐採、黄色は枝おろし、緑は移設。

小林議員 給食施設費の備品購入は何か。

教育課長 まな板等消耗品635点、食缶等備品230点。

大和田議員 公立岩瀬病院負担金232万円

は。

健康福祉課長 不採算医療(※)負担金は、例年普通交付金で相殺しているが、普通交付税の減少等の理由により令和2年度は、相殺ができなかった分について、予算計上した。

石井議員 受水槽リ入料12万円の場合は。

総務課長 旧四辻分校受水槽の1か月分のリ入料。

上水道の整備後、上水道に切り替える。

石井議員 空き家対策で旧乙字亭購入補助金740万円の対象期間は。

総務課長 令和3年3月31日まで。

(※) 不採算医療とは…

小児科、産科など、採算がとれない医療分野。

討論

◆反対意見

林議員 玉川村は予算がひっ迫している。農業集落排水事業・上水道事業・旧須釜中・旧四辻分校のリノベーション事業等、生活に密着した事業が多い。

観光事業で旧乙字亭を購入してまでの予算はないものと考ええる。

◆賛成意見

大和田議員 旧乙字亭の土地・建物を現地視察した。

今定例会初日の議員打合せ会でも説明がなされた。より理解が得られたと思う。この補正予算を今定例会で可決し、事業を執行するべき。

起立多数で可決

介護保険特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ
1469万円増額
予算総額
6億9069万円
(歳入)
・調整交付金 1052万円を増額
(歳出)
・施設介護サービス給付費 3500万円の増額

〔質疑〕

林議員 補正ゼロはなぜか。
健康福祉課長 財源構成のみで、ゼロの補正となる。

旧四辻分校観光交流拠点整備工事請負変更契約の締結について

床・柱に腐食部が見つかる。新規材料に交換するため、128万円増額するもの。

〔質疑〕

林議員 11月19日に現地調査した。あるものは、ほとんどは使用し、新しくしたのは柱か。

総務課長 腐食による交換で、新しいものは土台4箇所と柱2箇所。

小林議員 腐食は工事進捗中に分かったものか。分かった時点で工事は止めたのか。

総務課長 現場的には工事指示書によりすすめている。

小林議員 進めているのは事後承諾になっていないか。

総務課長 契約は議会の議決が必要になる。事後承諾というものではない。

起立多数で可決

小中学校学習者用コンピュータ売買契約の締結について

小中学生にひとり1台のタブレットを購入するもの
タブレット522台他
総額3869万円

〔質疑〕

塩澤議員 教育効果・保守点検料・耐用年数は。

教育課長 中心は教科書であり、タブレットは補助教材で使用する。

校外学習で写真や記録で利用。インターネットで動画が見れる。関心を高める。分かりやすい説明が期待できる。

保守の考えはない。不具合の場合、予備を使用する。

耐用年数は5年。

石井議員 講習会の開催は。

教育課長 導入時における事業者及び県に人材の派遣を受けての研修を予定する。



導入予定のタブレット



小林議員 7社指名で3社しか応札がないのはなぜか。

教育課長 会社都合

によるが3社。ソフトの取り扱いができないが1社。

林議員 今の器具と接続し使えるのか。

両方あった方が良いのか。

教育課長 今までは

パソコンルームで使用する。今回のタブレットは補助教材であり、能力は劣る。文書作成やグラフ作成はできない。

今までのものと両方活用する。

小中学校電子黒板売買契約の締結について

小中学校に電子黒板を購入するもの

電子黒板29台他

総額1776万円

〔質 疑〕

塩澤議員 教育上の効果は。

教育課長 タブレット

と連動して使用。わかりやすく理解できる。

分割画面表示で多様性が比較でき、深掘りでき



導入予定の電子黒板

第5回 臨時会

〔質 疑〕

小林議員

問 再任される経緯は。4年間の実績、人柄等を考慮し再任が適当となった。

第5回臨時会は11月9

日に開催され、村から提

案のあった条例の一部改

正3件、人事案件1件を

審議し、全て原案どおり

可決、同意されました。

※審議議案一覧は、8ペー

ジをご覧ください。

教育委員会委員の任命に同意



石井 隆士 氏

11月18日で任期満了となる石井隆士教育委員会委員の任命について、全会一致で同意された。

玉川村議会 ■ 12月定例会 ■

審議議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対、提は提出者、欠は欠席 須藤議長は採決に加わらないため空欄
全会一致で賛成の場合は個別の賛否は省略します。

議案番号	議案名	採決	須藤安	林針	小針	石井	渡邊	小林	大和田	飯島	西川	三瓶	塩澤	須藤利	
議案第80号	玉川村公の施設の指定管理者の指定	可決	○	×	○	×	×	○	○	○	×	×	○		
議案第81号	玉川村議会議員及び玉川村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例	可決	公職選挙法の一部改正に伴い、選挙公営の対象が拡大された。												
議案第82号	玉川村行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条例	可決	委員会の名称を「行財政改革推進委員会」に変更する。												
議案第83号	玉川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	地方税法施行令の一部改正に伴う改正。												
議案第84号	玉川村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	可決	地方税法施行令の一部改正に伴う改正。												
議案第85号	令和2年度玉川村一般会計補正予算（第6号）	可決	○	×	○	×	×	○	○	○	×	×	○		
議案第86号	令和2年度玉川村介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	6ページに記載												
議案第87号	令和2年度玉川村水道事業会計補正予算（第2号）	可決	収益的収入及び支出の総額に、それぞれ290万円増額し、総額2億2552万円とするもの。												
議案第88号	旧四辻分校観光交流拠点整備工事請負変更契約の締結	可決	○	×	○	×	×	○	○	○	×	×	○		
議案第89号	小中学校学習者用コンピュータ売買契約の締結	可決	6ページに記載												
議案第90号	小中学校電子黒板売買契約の締結	可決	7ページに記載												
請願第2号	排水路設置工事に関する請願	採択	岩法寺字上代地内の排水路設置工事												

玉川村議会 ■ 第5回臨時会 ■

審議議案一覧

全会一致で賛成の場合は個別の賛否は省略しました。

議案番号	議案名	採決	内容等
議案第76号	村長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	村長等の期末手当の支給率を引き下げるもの。
議案第77号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	議会議員の期末手当の支給率を引き下げるもの。
議案第78号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	職員の期末手当の支給率を引き下げるもの。
議案第79号	玉川村教育委員会委員の任命につき同意を求めること	同意	7ページに記載

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。*金額は万円未満切り捨て

議会を傍聴しませんか 12月定例会の傍聴人数6人（2020年累計傍聴人数34人）
次回の定例会は3月中旬を予定

村政 ここがききたい 6人の議員が質問

一般質問とは、議員が村長など執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。

住民を代表しての発言の場であることから、大きな関心と期待を持たれる大事な議員活動でもあります。

◇ 林 芳子

1. 令和3年度予算編成に対する基本方針について
2. 旧四辻分校観光交流拠点事業について
3. (仮称) 須賀川・玉川風力発電事業について

◇ 小針 竹千代

1. コロナ問題について
2. 玉川地区農業集落排水処理場について

村の答えは？



◇ 須藤 安昭

1. 村民懇談会について
2. 旧四辻分校「たまかわ観光交流施設」
森の駅ヨッジ(*) 活用による移住定住の促進について

◇ 塩澤 重男

1. 新地方公会計について
2. 上水道事業について
3. ハンコの廃止について

◇ 大和田 宏

1. 旧須釜中学校施設の活用について
2. 上水道事業の現状と今後の進め方について

◇ 三瓶 力

1. 農業振興地域について
2. 泉郷駅のトイレについて
3. 公共施設の管理について
4. 企業誘致、再就職の支援について
5. 村の循環バス運行について

(*) ヨッジとは…「森の駅」Yodge。旧四辻分校「たまかわ観光交流施設」の愛称。(議会だよりでは「ヨッジ」と記載しています。)

コロナ対策で飛沫防止パネルを設置した議場



はやし よしこ 議員 林 芳子

Q 令和3年度の基本方針は A 新型コロナの感染拡大防止に 努め、国や県と連携し村民の ニーズにあった対応

問 令和3年度の予算編成の基本方針は。
答 新型コロナウイルス感染症拡大の終息が見通せず、喫緊の課題のなか、来年度は、第6次振興計

画の後期初年度となることから、「未来が輝く元気な たまかわ」の実現に向けて、子供子育て支援、移住・定住対策、少子化策、産業振興、住民福祉向上推進の施策に向けて村民のニーズを的確に捉え、新型コロナについては、国や県と連携しながら感染拡大の防止による安全・安心の確保と、社会経済活動の確保に取り組む。

問 主な事業は。
答 具体的なものとは未定だが、「旧須釜中学校活用推進」「森の駅ヨッジの開発」「乙字ヶ滝観光交流拠点事業の推進」「村道中16号線の整備促進」「農業集落排水事業」「上水道未普及地域解消事業」の基本事業に取り組み、村民が満足するよう柔軟且つ、大胆な発想により事業を構築する。

Q 観光交流施設 指定管理者は A 応募は1団体 のみ

問 現在の全体の進捗状況は。

答 11月末で51%、12月末で75%の予定。アプローチ部分については、8月21日に補助金が下りたので12月中に発注したい。

問 指定管理者募集の経過は。

答 10月1日から10月30日まで、村ホームページで公募し、1団体からの申請のみで、書類、プレゼンテーションによる審査を行った。ヨッジのコンセプトを踏まえ、特色ある農産物や豊かな自然

を生かし、定住に結びつく、満足するサービスの提供ができる指定候補団体として選定した。



風力発電 (イメージ)

Q (仮称) 須賀川・ 玉川風力発電事業 への村の見解は A 現在の状況と変わ らぬよう注視

問 日立サステナブルエナジー(株)による「(仮称) 須賀川・玉川風力発電事業」建設に対する村の考えは。
答 平成31年9月18日

に県より「循環環境評価報告書」の意見照会があった。
県に対し、「① 騒音に配慮し建設以前の状態であること。
② 動植物への影響がないこと。
③ 周辺の電波等に影響がないこと。
④ 説明会等により住民の合意が得られること。」を提出した。
住民からの申し出があった場合は、事業者や県へ強く要望する。

問 観光交流施設のある四辻地区への影響があると考えられるが村の見解は。
答 平成28年に四辻地区への環境に配慮し、建設は須賀川地区のみになったが、今後も電波障害等影響のないよう注視し、影響があった場合は事業者や県に強く要望する。



こばりたけちよ
小針竹千代 議員

Q村内にコロナ患者が発生した対応は A対策本部会議で 対応

問 村内でコロナ陽性者が確認された場合、保健所からの情報はどこに連絡があつて、どのように対応するのか。その流れは。

答 県中保健所から、健康福祉課長に連絡が入り、感染症対策本部長が、

対策本部会議を召集し、必要な対応を協議、決定する。

問 濃厚接触者はどのように確定し、PCR検査はどこまでを対象に行い、検査費用は誰が負担するのか。

答 濃厚接触者の確定は、患者確認後、管轄の保健所が患者本人や同居家族等に聞き取り調査を行い確定する。

患者本人や濃厚接触者のPCR検査は、行政検査として実施するため、福島県が全額公費負担となる。

問 発生者の個人情報保護、誹謗中傷の観点から機密保持は大事だと思ふが、村の場合、近所付き合いもあり、拡大防止の意味で、周辺への情報も必要では。

答 県で発生した内容以外の個人情報公表はしないと決められている。

問 玉川村で発生後、小学校の運動会があつたが、安全が確認されている実施か。

答 発生者の家族には、中学生以下の児童はいないので開催した。

問 コロナウィルスのワクチンができない以上、感染者は増加すると思われるが、来年度の事業の見直しはどのようになるか。

答 経済情勢を注視しながら、状況に合わせて事業等の見直しを凶っていく。



コロナ対策で体温測定

Q集落排水処理場の 場所は A国と調整

問 玉川地区集落排水処理場の場所は、令和元年度より始まった阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの遊水地整備検討箇所の中にあり、処理場建設前に、福島河川国道事務所との話し合いをもつのか。

答 国からの申出により、現在、事前の調整を実施している。

処理場が遊水地内に位置付けられた場合を想定して、県中農林事務所とも相談し、処理場建設地の代替案を含め、今後、国と調整をする。



玉川地区集落排水処理場建設場所

問 処理場建設費は、どの程度見込んでいるのか。

答 現在の計画で、概算で4億6千万を予定している。

問 処理場建設後、遊水地予定地に決定した場合、建築費を含む移転費用の補償は。

答 国事業において補償算定の上、必要に応じた機能補償がなされると聞いている。

新たに設置する処理施設については、双方で事前の調整を行い、代替案を含めた検討を行い、補償等の対応する予定となっている。

一般質問



すどうやすあき 須藤安昭 議員

Q 村民懇談会は A 民意を村政に 反映

問 本年そして来年の開催予定は。

答 隔年開催で今年はコロナ禍で中止、来年は開催したい。

問 村民懇談会での要望、提言が村政に反映された具体的な事例は。

答 屯所建設や防火水槽設置、除雪事業、村振興計画策定や種々の事業の立案に反映させている。

問 改善点や変更点は。



岩法寺区防火水槽

答 統一的なテーマ設定や、老若男女の幅広い方々の更なる参加を図る。

問 若い世代や女性の参加者が少ないが、決して無関心ではない。

村民が本当に求めているのは何か。

答 18歳以上の村民の皆さんにアンケートを実施してはどうか。

問 そういふ発想も大事なので参考にしたい。

Q 森の駅ヨッジ 活用による移住、 定住促進は A 交流人口、関係人口の拡大が重要

問 営業目標 宿泊客3020名/年、飲食客1万3000名/年はどのような数字か。

答 業務委託をするために算出した目安である。

問 ヨッジを活用し交流人口、関係人口を増やし最終目的は玉川村への移住、定住を促進させることだが、玉川村民になってもらうためにどのようなアプローチするか。

答 着地型観光により玉川村の魅力を感じてもらい交流人口、関係人口の拡大、テレワーク等

対応できる環境整備、更には移住者向けの支援等の充実により移住、定住につながるかと考えている。

問 自然が豊かでいいところと感じ、年に1、2回、キャンプに来たいというリピーターも期待出来ると思う。

しかし、これから家庭を持つとする人、働き盛りの人、子育て真っ最中の人が、ここに住みたいと思うか。

答 移住、定住をいろんなインセンティブ(※)を設けて、他の自治体よりも有利性をPRして進めて行きたい。

問 玉川村の良さと利便性の両立した優良住宅地が無ければ移住、定住につながらない。

適地を挙げれば、役場周辺、小高江平、蒜生恵平地区等です。

住宅地の開発について、村長の考えは。

答 施策の展開で人口減少に歯止めをかけた。優良住宅地、分譲地の開発を民間活力を生かし取り組んで行きたい。今の候補地についても、可能性を含め検討したい。

問 ヨッジは巨費を投じての事業ですので、経営破綻しないよう継続し、住宅地の受け皿があつて、その上で『移住、定住促進補助事業』や『子育て世帯引越費用補助金』等が有効に機能するのではないかとと思うが、どうか。

答 行政の積極的な姿勢と、具体的な施策の展開が大切と考える。



役場周辺



小高江平地区

(※) インセンティブとは…移住定住に係る補助金や報償費等。



しおざわしげお
塩澤重男 議員

Q新地方公会計の活用は A財政マネジメントに活用

問 財務4表を議員に公表し、説明する考えは。
答 説明していく。
問 財務4表を村広報にわかりやすく記載し、村の資産・負債状況の見える化を図る考えは。
答 村ホームページで公開。村広報紙への掲載は検討していく。



長寿命化が見直される村営住宅

問 新地方公会計の活用は。
答 資産・負債のストック情報や減価償却費・退職手当引当金のコスト情報が明確になる。予算編成や資産管理等の財政マネジメントに活用していく。
問 本庁舎更新の計画は。
答 更新の計画はない。玉一小・須釜小の

Q老朽配水管の更新は A30.7%更新

問 上水道事業の進捗状況は。
答 平成30年度は四辻新田浄水場と滝作配水池

建て替え計画は。
答 学校建設基金を行いながら、修繕に向けて準備していく。
問 村営住宅の対策は。
答 長寿命化見直し作業を年次計画で進める。
問 住民サービスは持続可能か。
答 現役世代の負担にならないよう、財政健全化に努める。また、住民サービスの低下にならないよう努めていく。

の用地を取得。
令和元年度は、四辻新田地区の水道整備測量を実施。
本年度四辻新田配水池の用地測量と浄水場及び配水池の地質調査を実施。
問 受益戸数は。
答 70戸。
問 四辻新田地域以外の未普及地域解消は。
答 滝作配水池を整備し、南須釜字滝作、狸穴、石橋地区を予定。

問 個人で井戸をボーリングした場合の補助は。
答 未普及地域解消事業の整備促進を図る。その後、周辺町村の現状を調査し、対応したい。
問 老朽配水管の更新の進捗状況は。
答 耐震化の進捗状況。導水管・送水管・配水管の合計8万1884mのうち2万5142mを更新。進捗率は30.7%。

Qハンコ廃止で何が変わる A来庁しないで済む

問 村の取り組み方針は。
答 情報化、デジタル化に取り組む。
問 ハンコ廃止のメリット・デメリットは。
答 申請者が来庁しなくても申請書類等が提出できる。
デジタル化に対応できない高齢者や事業者に対応していきたい。
問 実施時期は。
答 国、県の通達により対応する。
問 行政の効率化は。
答 事務コスト軽減。働き方改革につながる。

一般質問

問 須釜支所を移設する考えは。

答 須釜支所と旧須釜中学校は立地的にも近く、コワーキングスペースとの共有活用など、利便性も高い、移転後の運営体制や方法など、具体的な内容について早期に検討する。

Q旧須釜中学校施設の活用は
Aいろいろな角度から検討



おおわ だひろし
大和田 宏 議員



利活用が検討される広い校庭

問 広い校庭を住宅団地化する考えは。

答 校庭を宅地化し、若者向けや移住者の方々、子育て世代の方々向けの住宅にするという提案があり、校舎・体育館・校庭の活用について、慎重かつ大胆な発想で検討し、地域の活性化や振興を図り、有効な活用策を見出したい。

問 たまかわ元気スポーツクラブの事務所及び活動拠点にする考えは。

答 校舎・体育館・プールの有効な活用方法を幅広く検討している。元気スポーツクラブの意向も選択肢の1つである。地方創生事業での活用も検討中で、たまかわ元気スポーツクラブと共同した事業の展開を検討する。

一般質問

Q上水道事業の現状と今後の進め方は
A計画的な早期の解消

問 石川町との協議はどうか。

答 平成29年度に、浄水場整備に伴う共同水道事業の協定書を締結。令和元年度は、浄水場更新と既存施設改修の比較検討。今年度は、仮設の凝集沈殿装置を設置するための詳細設計を実施。来年度は、改修の可能性について判断。

問 四辻新田地内の水源地を活用した上水道事業は、今後どう進めるのか。

答 令和3年度は、水源・浄水場・配水池の測量設計と配管の一部設計と配管工事。令和4年度は、水源の整備工事と浄水場から配水池までの送水管・配水管布設工事。令和5年度は、浄水場から明神橋までの配水管布設工事。年度末に、一部供用開始。令和6年度は、明神橋から小半弓及び千五沢までの配水管敷設工事。令和9年度で、この水源地での未普及地域解消事業を完了する計画。その後は、財政状況等を見ながら、滝作配水池まで整備し、未普及地域の解消を図る。



三瓶 力 議員
さんぺい ちから

Q泉郷駅のトイレは A JRへ要望を行う

問 泉郷駅のトイレ設置について、その後の経過及び今後の見通しは。
答 福島県鉄道関係協議会を通して、県内各路線の懸案事項と泉郷駅のトイレの設置を要望している。

している。不可能ならば、村が建設及び管理を行うべきでは。
答 現在は関係者と共にJR要望活動を行っているところであり、今後もし引き続き、要望活動を行っていく。



きれいになった泉郷駅

問 泉郷駅西側に玉川村、商工会が設置した看板に、〃元気な〃たまかわ ようこそ玉川村へ〃福島県の玄関〃(福島空港)、日本の滝百選(乙字ヶ滝)等、たくさん観光名所があり、「未来につながる村づくり」を掲げている。利用者の

利便性、将来に向けて、再度伺う。
答 さらに要望活動を進めてまいりたいと考えている。それでもなかなかJR東日本と話が進まない場合は、さらに検討してまいりたい。



泉郷駅にある案内板

Q公共施設の 管理は A防犯カメラを 設置したい

問 いたずらや建物の破壊を未然に防止、抑止

するために外部へ防犯カメラを設置すべきと思うが。
答 今後検討して学校から順次設置していきたい。

Q企業誘致、再就職 の支援は A情報の提供等に 取り組む

問 福島県企業誘致推進協議会の総会及び第1回市町村企業誘致担当職員研修会と第2回研修会の内容は。

答 2回とも欠席した。
問 毎週届く就職情報誌をたまかわ広報のお知らせに掲載しては。
答 窓口のみでお知らせしているところだが、

Q村の循環バスは A関係機関と情報 共有し、検討する

村の広報誌活用を検討していきたい。

問 国の地域の公共交通の確保に向けた支援、県の市町村生活交通対策事業補助金、地域公共交通確保維持改善事業費補助金等を活用しながら、実情にあった運行をすべきではないか。
答 交通弱者に対する支援は現在届いていないのか考えている。「もちもたの会」という組織から大変丁寧な提言等いただいた。村としても話し合いを持ちながらより良い方法で考えていきたい。

一般質問

委員会活動

文教厚生常任委員会

玉川中学校、
玉川村学校給食
センターを視察
10/28



大規模改修が完了した玉川中学校

10月28日、文教厚生常

任委員会は、玉川中学校と須釜小学校校庭西側に建設中の玉川村学校給食センターを視察。

玉川中学校では岡崎校長先生の案内を受け、大規模改修が10月2日に完

了し、壁や床等がきれいになった校舎や体育館を見学した。

また、玉川村学校給食センターでは、陰山建設の現場管理者から工程などの説明を受けた。



建設中の玉川村学校給食センター

総務産業建設常任委員会

旧四辻分校「たまかわ観光交流施設」森の駅ヨッジ
玉川農産物加工施設を視察
11/19

11月19日、総務産業建設常任委員会は、たまかわ観光交流施設、玉川農産物加工施設を視察。

ヨッジでは、荒牧建設の現場管理者から、進捗状況などの説明を受け、建設中の建物内部等を見学した。

また、玉川村農産物加工施設では、小針敬子施設長から、加工施設の部屋毎の用途等の説明を受けた。



玉川村農産物加工施設にて



建設中の森の駅ヨッジの説明を聞く

岩法寺区からの
請願箇所の調査
12/4

総務産業建設常任委員会に付託された請願箇所の調査を行った。



請願のあった現地をみる (岩法寺字上代)

当日は、区長さん等からの説明を受け、現地を確認した。

調査後、委員会での審議をされ、12月議会で採択した。

議員研修

福島県町村議会
議員研修
10/8

10月8日、県主催の町村議会議員研修がユラックス熱海で開催された。早稲田大学・片山善博大学院教授の「ポストコロナの地方自治を考える」と題し、国と自治



真剣に聞く 町村議会議員研修

体の対応を、具体例を挙げた講話があり、また、ジャーナリストの角谷浩一氏からは「今後の政局・政治の行方」という内容で、安倍首相の辞任後の政局の行方についての講演が行われた。

石川地方町村
議会議員研修

11/9

11月9日、石川地方町

村議会議長会主催の研修がマーヴェラス末広で開催された。

講師に福島大学の今西一男氏をむかえ、「人口減少社会における地域活性化策について」と題し、演習を交え、町村による地域活性化の取り組みの紹介と、今後の同対策の可能性について講演が行われた。



とても有意義な研修



村民の声

Vol.16

玉川第一小学校
PTA会長
おくの けんいち
堅一さん
(岩法寺)



●議会に対して

議員の皆様には、村民の代表として活動に尽力していただきありがとうございます。
最近、県内でも増加傾向にある、新型コロナウイルスに対する課題が大きいかと思いますが、その他の活動にも村民の声を生かして、住み良い玉川村にしていきたいと思えます。

●村に対して

今までの生活が当たり前ではなくなり、子供達は学校行事の変更や、発表の場が少なくなったりと、何らかの影響が村内でも見られていると思えますが、新しい生活様式に沿った形態で活動が行える場であったり、事業が行える環境を整えていただき、これからも村民に住みやすいと思えるような村になるように、村民の声を聞いてほしいと思えます。

玉川第一小学校
PTA副会長
やぶき あきお
矢吹 昭夫さん
(中)



●議会に対して

学校教育にITC環境が整った教育が導入される予定で、これまでと違った教育学習が見られ、生徒のレベルアップにつながり、生徒の能力・特性に応じた学びを目指すことが出来ると思えます。これからも村民の声に寄り添って、議員の皆様頑張っていたきたいと思えます。

●村に対して

新型コロナウイルスの中、村民全体が運動不足になっていると思えます。そのため、皆でいつでも無料で運動が出来る施設を設けていただきたいと思えます。今よりも住みやすい玉川村になって欲しいです。



おれの年だな。よろしく！！

(大和田 宏)

あけましておめでとうございませう。
昨年引きつづき、コロナ感染が収まることなく、生活に大変なご苦労があることと思えます。一日も早い終息を望みます。
今年も早急な回復を願っています。ごっしりと構えて、一歩一歩確実に行動したいものです。
この議会だよりで、皆さんの声を活かしながら、情報を提供して参りますので、よろしくお願ひします。

あとがき